

# もいのにぎわい通信

## 2024年10月26日 定例活動報告

日時：2024年10月26日（土）9：00～17：00

場所：小山町 観音地

天候：曇り 気温19～22℃ 湿度74% 風向 東北東 風速2.4m/s

参加者：44人：子供7人、大人37人（内土地改良区5人）

### ■活動

9：00 集合

9：30 作業開始

クズの蔓切、除草作業

10：30 休憩

11：00 除草作業、クズの蔓切

12：00 片付・解散

17：00 井戸掘り・片付け・解散

### ■活動報告

今日は、除草作業とクズの蔓切りとマツの枝打ち作業の他、5月に引き続き安房高校の先生と生徒さんによる井戸掘りがありました。

初参加の高校生2名とご家族、小さいお子さん連れのご家族など44名の参加があり、お天気は曇り空ですが雨の心配はなさそうです。

刈払機での除草作業は、改良区と会員を中心に進入路とクロマツエリアの斜面、ヤマザクラエリアに分かれて開始。ボランティアの皆さんには、クロマツに絡みついたクズの蔓を剪定バサミで伐る作業をお願いしました。森の手入れで一番大事な作業とも言えます。クロマツにクズが絡みつき下枝も広がった状態で草刈作業がしづらい状況でした。震災後に三陸海岸に植えたマツもクズに覆われて同じような作業をされているとか。いつも成長旺盛なクズには手を焼いています。

休憩時間に森で収穫した二郎カキをみんなに食べてもらいました。カラス対策のネットやテグスを2週間前に張ったのにも関わらず、ほとんどハクビシンかアライグマに食べられてしまいました。

結果、枝の先端に残っていた12個だけ。手ごわい害獣！

今年10月に千葉市よりトレイルカメラ4台の支給を受けましたので、来月に森の4カ所に設置する予定です。今後はどのような動物が森に来ているのか観察ができるようになります。

また、来年は捕獲用の罠を仕掛けてみては、と思います。沖縄の外来種のマンガースのようにハクビシンやアライグマを捕獲して滅らしていけるといいのですが・・・。

休憩後は、井戸掘りの場所で集合写真を撮りました。

その後、手分けをして作業を再開。厄介なクズが土砂崩れ防止のための土嚢を積んだ場所にも覆いかぶさり見えなくなっていました。高校生を中心にお願いして鎌で刈り取って土嚢が見えるようにしてもらいました。でも、土嚢にしっかりと根付いたクズとの闘いでしたから、参加者より「先月のクズの蔓切よりもハードでした。」との感想は、うなずけます。来年またこの上に土嚢を積む予定です。

生き物が好きな子ども達は、一生懸命にクズの蔓切作業をしながら合間にニホンアカガエルやアマガエルを捕まえてみんなに見せてくれました。子ども達のお陰で貴重なニホンアカガエルを観ることが出来ました。また、大きなシイタケは子ども達がジャンケンをしておみやげにしました。

ボランティアの皆さんの手をお借りしないとできない作業が今回できたことは、本当に良かったと思います。環境に関心のある高校生と共に作業ができたことも張り合いになりました。

ご参加下さったみなさん本当にお疲れ様でした。

一方、10メートルを超える深さまで進んだ井戸掘りは、固い土の層にあたって難航していました。地層を砕く槍のような道具の先端が削れてきていて思うように進めないのだそうです。それでも、50cm掘り進んで今日はここまでとなりました。地下なので目に見えるものではありませんが、あと少しのところが厚い壁となって大変なのだと思います。次回こそ待望の水が出ることを願っています。

安房高校の生物部の先生方、生徒のみなさん大変お疲れ様でした。

記録：星野 静枝

.....

お知らせホームページもご覧下さい→ <http://www.g-cycle.org/>

次回の定例会は、11月16日(土)(雨天の場合11月17日(日))

除草作業、クズの蔓切、枝打ち、キウイの収穫を予定。

コロナ禍の為、午前中のみとします。



集合写真



受付の様子



クロマツのある斜面林の草刈



ヤマザクラエリアの草刈





ラズベリーの苗木の草刈



クロマツに絡まったクズの蔓切





モミの木に真っ赤なカラスウリ



崖崩れ防止に積んだ土嚢にもクズ



土嚢が見えるようになりました。

お疲れ様でした。



土嚢に根付いたクズ



シイタケが育ちました。



ニホンアカガエルとシイタケ



カエルの大きさ比べ？



大きなシイタケだね。



休憩の様子



解散の様子





井戸掘りの様子



カケヤで力を込めた管打ち





卵型のキタマゴタケ



傘が開いたキタマゴタケ



野ウサギの糞